News Letter Vol.5

2015. 6. 30 第５号

発行：東京都杉並区高井戸東 3-3-15-308「スマイリングホスピタルジャパン事務局」
Tel/Fax: 03-6765-6883　E-mail: info@smilinghpj.org　HP: http://www.smilinghpj.org

“Happiness Helps Healing”

・ごあいさつ
・４月～６月の活動報告
・Share With FIAT 紹介
・アースデイ 2015 報告
・コラム～緩和ケアとボランティア～
・病棟の風景から
・沿革～誕生から３年を振り返って～
・活動を通して～SHJ アーティストより～
・団体概要アップデート

ごあいさつ

６月初旬に、難病の子どものためのキャンプ場を見学する機会があり、スタッフの方々との貴重な意見交換の場に恵まれました。大自然の中でのキャンプは、単調で窮屈な入院生活を強いられる子どもたちにとって極めて非日常的な行事です。いっぽう、SHJ は毎週、または毎月行われる定期活動。非日常的なダイナミックな体験と、入院生活という日常を豊かにする活動の両輪を大切に、それぞれの任務をしっかりと行いながら連携し、入院中の子どもたちを支える使命を共有していくことを確認しました。

また、６月中旬には日赤医療センターで、インターナショナルハイスクールの学生のインターンシップがありました。スポンサーであるFCAジャパンによる社会貢献プロジェクト”Share With FIAT”の活動内容をインターンシップとして高校生が体験し、SHJの活動を若い学生たちに知ってもらうことにも繋がるいい機会でした。高校生の職場体験にボランティア活動が選ばれたことは意義あることです。しかし、小児病棟へ入ることができるのは、通常患児の保護者または抗体保持証明ができる成人のみで、入棟自体が極めて難しいことから、小児医療現場の現状とそこに何が必要か、社会に知ってもらうことの難しさを今回改めて感じました。今回引き受けてくださった日赤医療センターの協力には深く感謝します。

今号では、支援企業のプロジェクトと共同イベントの紹介、そして現場医療者によるコラム、SHJアーティストのコメントなどをご紹介するとともに、活動開始から丸３年を振り返り、これまでのあゆみを改めてご報告いたします。
病院や施設の理解を得ながら活動が評価されるに伴い、全国に展開していることは大変喜ばしいことです。しかし、変わらないのは、いま、ここにいる子どもたちに向き合い寄り添い、ひとつひとつの活動を大切にしていくこと。
入院生活は思い出したくない辛いだけの経験、ではなくて、退院後新たな困難にぶつかったとき、闘病生活を乗り越えたことを勲章に、今回も頑張れる！と子どもたちが前を向くきっかけになれたら・・・。アーティストたちといちばん共有したいことです。これからのSHJも見守っていてくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

スマイリングホスピタルジャパン 代表理事　松本　惠里

NIKONIKO 大使ガイの
みんなでスカーフジャグリング
３月 23 日（月）
日赤医療センター附属乳児院にて

●2015 年４月～６月の活動報告

小児病棟は、その日行ってみなければ子どもの人数も年齢もそして状態もわからない、という極めて流動性の高い環境です。プレイルームには何人集まれるか？ベッドサイド活動は何人でどんなことができるか？　準備していた活動、用意していた材料をそのまま引き出しにしまって、その時の状況に合わせて別の引き出しの中から、これ！と思う素材をアレンジする。
さすがプロのアーティストたちは、子どもたちから学びながらバリエーションをどんどん増やしています。そんな工夫によって、目の前で子どもたちが笑顔を見せてくれたら、これほどの喜びはありません。４月から６月の 45 回の活動を紹介します。

月/日	曜	活動場所	活動内容	担当者
4/1	水	神奈川県立こども医療センター内科系病棟	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
4/6	月	日赤医療センター　小児病棟	造形アート「モンスターになろう」	佐々木優子
4/8	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
4/10	金	神奈川県立こども医療センター外科系乳幼児病棟	英語で遊ぼう＆マジック教室	クラウディ
4/13	月	日赤医療センター　小児病棟	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
		石巻赤十字病院　小児病棟	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
4/14	火	慶應義塾大学病院　３N 小児病棟	英語で遊ぼう＆マジック教室	クラウディ
4/15	水	神奈川県立こども医療センター内科系病棟	英語で遊ぼう＆マジック教室	クラウディ
		京都大学医学部附属病院小児病棟	コミックジャグリング＆マジック	たっきゅうさん
4/16	木	慶應義塾大学病院　5S 小児病棟	塗り絵　コラージュ	真鍋麻里
4/20	月	日赤医療センター　小児病棟　付属乳児院	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
		宮城県立こども病院　小児病棟	キーボードデュオリサイタル	トゥッティ
4/24	金	神奈川県立こども医療センター　ハイケア２病棟	塗り絵　コラージュ	真鍋麻里
4/27	月	日赤医療センター　小児病棟	お絵描き教室＆ポートレート	水野ぷりん
		宮城県立こども病院　小児病棟	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
4/28	火	宮城県立こども病院　小児病棟	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
5/8	金	神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
5/11	月	日赤医療センター　小児病棟　付属乳児院	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
5/12	火	慶應義塾大学病院　3N 小児病棟	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
5/13	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
5/18	月	日赤医療センター　小児病棟	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
5/20	水	日赤医療センター　小児病棟　付属乳児院	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
		京都大学医学部附属病院小児病棟	パーカッションで遊ぼう	西純江
5/21	木	慶應義塾大学病院　5S 小児病棟	マジック＆バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
5/22	金	神奈川県立こども医療センター内科系乳幼児病棟	こどもジャズ＆ブルース	石橋和子
5/25	月	日赤医療センター　小児病棟	塗り絵　コラージュ	真鍋麻里
		静岡県立こども病院	ドラムでリズムあそび	鈴木知子
5/26	火	宮城県立こども病院	リコーダ、アコーディオン、木琴	もっきんばーど
6/1	月	日赤医療センター　小児病棟	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
6/3	水	神奈川県立こども医療センター内科系病棟	音楽とお話し紙芝居	山中一徳
6/8	月	日赤医療センター　小児病棟	にじいろ手がたスタンプアート	坂本和美
6/9	火	慶應義塾大学病院　3N 小児病棟	みんなで大きな絵を作ろう	Ouma
6/10	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	カホン、シェイカーetc,で音遊び	西純江
6/12	金	神奈川県立こども医療センター外科系幼児学童病棟	塗り絵　コラージュ	真鍋麻里
6/15	月	日赤医療センター　小児病棟　付属乳児院	弾き語り＆なんでもリクエスト	眞理さん
		大阪市立総合医療センター	コミック大道芸	あざーす・のず
6/17	水	神奈川県立こども医療センター内科系病棟	歌のお姉さんとお兄さんがやってくる！	ゆう子＆翔太
		京都大学医学部附属病院小児病棟	即興演劇に挑戦！	カクテルホイップ
6/18	木	慶應義塾大学病院 5S 小児病棟	和紙でちぎり絵ワークショップ	ラキ　オハナ
6/22	月	日赤医療センター　小児病棟	こどもジャズ＆ブルース	石橋和子
		静岡県立こども病院	ドラムでリズムあそび	鈴木知子
		石巻赤十字病院　小児病棟	アコーディオン演奏	宍戸素子
6/23	火	宮城県立こども病院	フラダンスに挑戦！	山中恵里子
6/26	金	神奈川県立こども医療センター外科系乳幼児病棟	お絵描き教室＆ポートレート	水野ぷりん
		療育室つばさ	ドラムサークル	三原典子

●スポンサー紹介~Special Thanks to FIAT!~

2012 年 5 月 9 日、支援者は絶対にいる！と信じて設立代表がまずはポケットマネーで始めた活動が、まずはドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー財団、財団法人あゆみの箱から助成金をいただき、活動を継続。そして同 12 月法人設立を記念して、FCA ジャパン株式会社（前 FIAT Chrysler Japan）の支援のもと法人設立記念パーティーを開催、翌年よりスポンサーとして支えてくださっています。
こうして SHJ が法人化してから現在に至るまで、FCA ジャパンの主宰するプロジェクト、”Share With FIAT”の支援のもと、安定した活動を実現することができました。
”Share With FIAT”とは、
「環境、教育、医療、貧困、障がい者支援などを扱う世界中の NPO および非営利団体をサポート。販売収益の一部を寄付するとともに、広く一般からの支援者拡大を図る。また団体ごとに共同イベントなどを開催することで、その活動の認知向上や理解促進に取り組む」
という趣旨のもと、以下の７団体を支援しています。

A brand of FCA FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

JKSK女性の活力を社会の活力に
jksk.jp
国際社会で通用する日本社会の、アジアの、世界のリーダーとしての女性の育成や、政策決定の場に女性の参画を促進していくことにより健全な社会を目指すNPO。

アジア女子大学
asian-university.org/japanese/
アジア地域の優れた学生に向けた新しい高等教育機関の提供を進め、より平等で安定した豊かな将来のある社会を目指し活動するNPO。

アニマルレフュージ関西（ARK）
arkbark.net
行き場を失った多くの動物に、安心してくらせる避難所（シェルター）を提供するNPO。

日本ブラインドサッカー協会
b-soccer.jp
ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会を目指す団体。

ピースウィンズ・ジャパン
peace-winds.org/
紛争や災害、そして貧困などの脅威にさらされている世界各地の人びとに支援活動を行うNPO。

ルーム・トゥ・リード・ジャパン
japan.roomtoread.org/
「子どもの教育が世界を変える」を信念に、世界で1,000万人の子どもたちに教育機会を届けるNPO。

Share with FIAT

スマイリングホスピタルジャパン
smilinghpj.org
入院中の子どもたちに芸術家が訪問して、豊かな時間を共有し闘病生活をサポートするNPO。

～３回目となった FCA ジャパンとの共同イベント“アースディ 2015”の模様を紹介します～

4 月 22 日の地球のことを考えて行動する日「アースデイ」を祝して毎年代々木公園で行われるフェスティバルに今年も参加しました。SHJ アーティストの版画家ツツミエミコによる「封筒の家版画ワークショップ」と、絵本作家坂本和美による「にじいろ手がたスタンプアート」には子どもたちがたくさん参加、親御さんも熱中するという盛況ぶりでした。
そしてコメディ大道芸人あざーす・のずさんは大阪から上京。両脇テントから苦情が出るほどの通路を埋める人だかりを作り出し、大変な盛り上がりでした。SHJ の紹介はもちろん、展示の FIAT パンダの説明や同じブース出展の ARK のコーナーへの誘導なども。初日にのずさんのファンになったちびっこは、２日目もパフォーマンスの時間に合わせて宿題を済ませるという熱烈ぶり。いつのまにかマジック教室開催となりました。
SHJ の趣旨に賛同し継続して支援してくださり、また SHJ を広く知ってもらう場として例年アースデイへの参加機会を提供してくださる FCA ジャパンには改めて感謝いたします。

今後の共同イベントは、
7 月 4 日(土)に開催の
FIAT BIRTHDAY FESTA2015。
今回は静岡県朝霧ジャンボリーオートキャンプ場にて開催、
FIAT オーナー家族やサポーターが集まり FIAT500 の誕生日を祝います。SHJ は京都からコミックジャグラーたっきゅうさん、そして静岡 SHJ からドラムサークルが参加し、キッズコーナーを盛り上げます！
もちろんここでも SHJ を宣伝！

●コラム～神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ ボランティアニュース Vol.138 2015 年 4 月号より

緩和ケアとボランティア（一）

神奈川県立こども医療センター　緩和ケア普及室　麻酔科専門医　三輪高明

皆さんは“緩和ケア”という言葉にどんなイメージをお持ちでしょうか？末期状態のがん患者の苦痛を取り除くケア、看取りのケアなどでしょうか？確かにそれも緩和ケアの重要な要素ですが、決してそれだけではありません。
小児緩和ケアは、ACT/RCPCH2003 (A Guide to the Development of Children's Palliative Care Services)で次のように定義されています。「生命を脅かす疾患を持つ子どものための緩和ケアとは、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな要素を含む包括的かつ積極的な取り組みである。それは子どもの QOL(生活の質)の向上と家族のサポートに焦点を当て、苦痛を与える症状の管理、レスパイトケア、週末期のケア、死別後のケアの提供を含むものである」。
子どもが病気になると、子どもだけではくそのご家族も様々な苦痛に見舞われます。痛い、苦しい、気持ち悪いなどに代表されある肉体的苦痛、不安、恐怖、苛立ちなどの精神的苦痛、学校に通えない、ともだちと遊べないなどの社会的苦痛、自分らしさの喪失、生きることの意味への問いなどのスピリチュアルな苦痛。これらの四大苦痛を総称して“全人的苦痛ートータルペイン”と呼びます。
子どもが不幸にして病気になったら、治すことを目的として病院での通院治療や入院治療が必要になります。病院は病気を治すことはもちろん大事ですが、同時に子どもとそのご家族の全人的苦痛もケアしなければなりません。すなわち小児医療においては、病気を治すことを目指す検査・処置・治療以外の子どもとご家族を支える行為の総称が緩和ケアということになります。病気を治す（キュア）ための検査・処置・治療とその子どもとご家族を支える（ケア）緩和ケアは小児医療の両輪です。
当センターにおいては、疾患の種類、時期を限定することなくこども医療センターをご利用になるすべての子どもたちとそのご家族、これから生まれてくる子どもたちとその母親、ご家族に対して遍く良質な緩和ケアが提供されるべきであるという従来からの信念のもと、さらに病院全体でこの課題に積極的に取り組むべく、2008 年に緩和ケアサポートチームが、2013 年に緩和ケア普及室が発足しました。
おそらくどの子どもに聞いても、外来通院はきらいと答えるでしょう。同様に入院が楽しくて仕方がないという子もいません。これは親も同様で、大切な子どもに病気が見つかり治療をしなくてはならないという不条理、これはとても辛いことです。
小児病院における緩和ケアの基本は、病院を“少しでも居心地の良い場所”にすることです。そのためのキーワードは“子どもたちの日常の維持”“子どもと家族を支える”“子どもと家族に優しい医療”。
病院には様々な部署に多くの専門職が勤務していますが、基本的にはそれぞれの専門性を活かして治癒を目指す治療を通して病気の子どもとそのご家族に貢献しています。一方、子どもとご家族への緩和ケアは、実は当院では様々な分野で活躍していただいている多くのボランティアの方々に支えられています。病院のアメニティを改善すること、様々なイベント開催、遊びを提供すること、話し相手になること、病院に様々な工夫で彩りを与えること、病院を訪れる人のご案内や援助、そして笑顔。
定期的に訪れてくれるボランティアの人を楽しみに待っている子どもたちがいます。様々な場面で親切に対応いただき、いつも助けられて子どもたちと家族がいます。専門部署で対応しきれない作業を請け負っていただいて感謝している職員が大勢います。
何か特別なことをするのではなく、長期間に渡って、良い時も悪い時も病気の子どもとご家族に寄り添うという緩和ケアの本質を体現しているボランティアの方々は、神奈川県立こども医療センターの緩和ケアの宝であり、全国の小児病院に誇れる存在です。

緩和ケアとボランティア（二）

神奈川県立こども医療センター　緩和ケア普及室　専従看護師　柏木順子

「現代ホスピス運動の祖」と言われたシシリー・ソンダースが、がん患者の苦痛をトータルペインとして提唱したのは有名な話ですが、その始まりはボランティアであったことはあまり知られていません。この意味でも、緩和ケアとボランティアには深い繋がりがあると思います。
「緩和ケア」との区別が難しい言葉がいくつかあります。例えばホスピスケアは【場所】を、ターミナルケアは【対象】を、エンドオフライフケアは【時期】を限定しています。
しかし、緩和ケアはその【目的】を限定しているところが大きな違いです。では、こども医療センターにおける緩和ケアの目的は何でしょうか？それは「すべてのこどもたち・ご家族を対象に、病期を問わず、QOL を維持・改善し、『その人らしい』生き方のサポートをすること」です。この目的が同じであれば、医療者ではなくても、緩和ケアの提供者となり得るのです。
必ずしも医療処置だけが、こどもや家族の苦痛を軽減するのではありません。もちろん薬や手術で病気を治すことはできます。しかし、治すことのできない病気や障がいを抱えた時、また、辛い治療の最中にいる時、センターが人生のすべてであるこどもたちにとって、医療者にできることには限界があります。臨床での経験から、季節感を感じたり、年齢相応の遊びや教育を受けたり、疎外感を感じないことなどの一見当たり前と思われるようなことが、いかにこどもや家族の「がんばる力」「生きようとする力」「笑顔」を支えてくれるのかを実感しています。

神奈川県立こども医療センター外来廊下にて
ボランティアによる季節に合わせたお飾り。
現在、患者さんたちが願いを書いた短冊を、笹とともに七夕のお飾りとして廊下の壁一面に展示しています。

ボランティアのみなさんが日々センター内を明るく楽しくしてくれることや、どんなときも寄り添ってくれる存在でいてくれることが、病気や障がいを抱えたこどもと家族の日常性を保ち、自分もふつうの人として生きていることを思い出させてくれるのだと思っています。
鏑木奈津子氏（上智大学）は、「日本の文化や実情にあった緩和ケアボランティアの必要性」について示唆しています。ボランティアや寄付の文化が根付いていない日本で、300 人を超える方がボランティア登録をしてくださっているセンターは、それだけで自慢できますね。関係者の方々の尽力とお一人おひとりの力のおかげだと思っています。
私が学生時代から大好きなことばである'not doing, but being'.（何かをするのではなく側にいること）はシシリー・ソンダースの言葉であることを最近になって知りました。この言葉は緩和ケアを象徴してしているなと感じます。こどもたちの笑顔を見ることで私たちも元気をもらい、癒されています。医療チームの一員として、ボランティアの皆さまとも協働しながら、こどもたちや家族のサポートができることを嬉しく思っています。

●病棟の風景から～

心温まるエピソードと共に紹介します。

左右とも淀川キリスト教病院こどもホスピスにて
右：音楽療法士 豊雅子による「ピアノや打楽器演奏でリズムを感じよう」(5/13)
「海」の歌に合わせてで大きなオーガンジーのピンク布をふわっ！と広げ、波に見立てました。ストレッチャーに横になったままの患者さんにはとてもダイナミックで心が躍る時間だったのではないでしょうか。
左：パーカッショニスト西純江による「カホン、フレームドラム、インディアンフルートなどで音遊び」(6/10)
看護師さんたちもこどもと一緒に横になりながら小さな楽器を一緒に奏でてもらい、リズムで寄り添いました。クールダウンの音が穏やかに眠りを誘いました。音楽の魅力とその力をアーティスト自ら改めて感じた活動でした。

右：神奈川県立こども医療センター
外科系乳幼児病棟にて(4/10)
コメディアン クラウディの
「英語であそぼ＆マジック教室」
英語教室とマジック教室が合体！
いつの間にか英語でマジックしている僕たち私たち！

左：慶應義塾大学病院
3N 小児病棟にて
細胞アーティスト Ouma による「みんなで大きな絵を完成させよう」(6/9)
元獣医師の Ouma さん、絵のモチーフはなんと細胞。顕微鏡を覗くように一人ひとり夢中で色をつけたあと、個性豊かな作品をどんどんつなげていきました。一人一人が集中したあとは、力を合わせてドッキング。そうすればアートもご覧のような大作に！

右上：神奈川県立こども医療センター
内科系乳幼児病棟にて(5/22)
シンガーソングライター石橋和子による
「子どもも大人もジャズ＆ブルース！」
お母様と赤ちゃん、幼児さんのリクエストに応えて「あんぱんまん」や「さんぽ」・・でも一番の人気はKazukoさんのブルース！
弾き語りのあとは、スキャット（デュビデュバ！シャバダバ！）をみんなで復唱するコール＆レスポンス。大人の方がかえって難しいと感じてしまう会場一体型の即興ジャズ。子どもはすぐにリズムに乗り、その盛り上がりがナースステーションにまで伝わり、踊り出す看護師さんも！
病棟のライブハウス化実現！
各個室へもライブを届けました。

●SHJ 沿革　活動を開始して３年。ここで任意団体として設立してから現在までを振り返ります。

2012 年	2/25	任意団体スマイリングホスピタルファンデーションインジャパン設立
	5/9	神奈川県立こども医療センター内科系病棟にて活動開始　毎週水曜日
	7/20	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンより助成
	9/28	パンフレット製作
		公益社団法人「あゆみの箱」より助成
	10/15	（株）OKI ワークウェルの協力のもとホームページ開設
	12/10	法人設立記念＆活動報告会実施
	12/18	特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン設立
2013 年	3/3	東京新聞にて活動の紹介
	3/11	日赤医療センター小児病棟にて活動開始　隔週月曜日
		公益財団法人公益推進協会「子どもスマイル助成」交付
	3/31	フィアットクライスラージャパンが 2013 年度のスポンサーに決定
	4/6	第１回アーティスト交流会
	4/20 21	アースディ東京 2013　FIAT ブースにて出展
	6/10	第２回活動報告会実施
	7/5	全労済より地域貢献助成事業として助成
	9/ 2	日赤医療センター小児病棟にて毎週月曜日活動
	10/1	2013 年度事業開始
	11/5	2012 年度総会
	11/7	都へ 2012 年度事業・収支等報告
	12/5	第３回活動報告会実施
	12/13	J.P.モルガン主催チャリティーパーティーに参加
2014 年	1/10	Fusion System Japan より助成
	1/22	InterSearch Japan より助成
	2/10	英語ホームページ開設
	2/28	ニュースレター創刊
	3/21~23	神奈川県立こども医療センター理学療法室待合廊下にて壁画製作
	3/31	フィアットクライスラージャパンが 2014 年度引き続きスポンサーに決定
	4/16	京都大学附属病院にて活動開始　毎月第３水曜日
	4/19,20	アースディ東京 2014　FIAT ブースにて出展
	4/21	日赤医療センター附属乳児院での活動開始　毎月第３月曜日
	5/19	宮城県立こども病院にて活動開始　月１回
	6/24	大阪市立総合医療センターにて活動開始　月１回
	7/12	第２回アーティスト交流会
	7/15	ニュースレター第２号発行　英語版ニュースレター創刊
	7/31	日本歯科医師会と日本財団による”TOOTH FAIRY Project”より助成（2014 年度活動資金）
	8/28	療育室つばさにて活動開始　月１回
	10/1	2014 年度事業開始
	10/15	石巻赤十字病院にて活動開始　月１回
	10/23	2013 年度総会
	11/4	都へ 2013 年度事業・収支等報告
	11/28	河北新報にて石巻赤十字病院での活動紹介
	12/9	第３回エクセレント NPO 大賞「課題解決力賞」ノミネート　授賞式出席
	12/15	ニュースレター第３号発行
	12/18	ニュースレター第３号英語版発行
	12/19	在日米国商工会議所より助成(2015 年活動資金として)
	12/25	東京 MX ニュースにて活動紹介
2015 年	1/29	第３回エクセレント NPO 大賞「課題解決力賞」ノミネート団体として毎日新聞にて紹介
	1/30	第４回活動報告会実施
	2/19	慶應義塾大学病院にて活動開始　毎月第２火曜日、第３木曜日
	3/4	産経新聞にて団体紹介
	3/18	淀川キリスト教病院こどもホスピスにて活動開始　毎月第３水曜日
	3/20	ニュースレター第４号発行
	3/31	ニュースレター第４号英語版発行
		FCA ジャパン（前フィアットクライスラージャパン）2015 年度引き続きスポンサーに決定

	4/18, 19	アースディ東京 2015　FIAT ブースにて出展
	4/27	静岡県立こども病院にて活動開始
	5/28	臨時総会　臨時理事会　（役員の変更について等）
	6/1	日本財団＆日本歯科医師会による TOOTH FAIRY 難病の子ども支援プロジェクトのパートナーとして昨年度に続き決定
	6/15	日赤医療センターにて高校生インターンシップ

● 子どもたち、お家の方々からの声を一部紹介します。

「毎週楽しみです」「長期入院しているので継続的に来てくださる SHJ の活動はとてもありがたいです」「病棟が明るくなりました」「回数を増やしてほしい」「週ごとに違う活動が楽しい」「入院中に生歌、生演奏が目の前で聴けるなんてとても嬉しい」「活動日までが楽しみ。いつも違うことがあり楽しめました」・・・次号からも紹介していきます！

● SHJ アーティストより～活動を通して思うこと～

ちぎり絵作家　橋本雅子
アシスタント　黒木麗子

皆さん、こんにちは。今年１月から皆様のお仲間の一員として活動させていただいております『LAKI　OHANA』こと、ちぎり絵作家の橋本雅子、アシスタントの黒木麗子と申します。
私たちは、和紙を使いて、色や素材の感触を指先でちぎり、ノリで貼る作業を通して、自由に自分の思い描く作品を創作する喜び、ワクワクする時間を感じてもらえればと思い、参加させて頂いています。
ちぎり絵に使用する和紙、折り紙は、日本ならではの素材です。色柄も豊富です。感触も様々で、出来上がる作品を見て、お子さんたちの感性にスタッフも驚かされています。

また私たちのユニット名『LAKI　OHANA』これは、ハワイ語で「しあわせな家族」という意味です。創作作りを通し、一期一会のご縁ではありますが、大切な２時間を豊かな時間としてお子さんに過ごせてもらえたらうれしいなあと思い、活動させてもらっています。
時には、親御さん、看護師さんや介護の方々もご参加されて、日常の雑事を忘れて楽しんでいる姿に、子供さんらも嬉しそうです。会話が弾んで、私達スタッフも元気をいただいています。

先日も、素敵な事がありました。
お母さんとお子さんとの間で、ストレスが溜まっていたようで、お母さんがお一人で参加されました。無我夢中で無邪気に創作作りを楽しんでいくうちに、すっかり気持ちも晴れたとかで、いらしたときは多少緊張されていましたが、お帰りの時には満面の笑み、輝いてらっしゃいました。「病室で待っている子供と一緒に作ってみます。」と言われ、ちぎり絵キットをお土産に持ち帰られました。

ご入院中はスタッフには想像もつかない、様々な葛藤やストレスが生じることかと思います。少しでも幸せに楽しい時間をお身内という家族だけでなく、お子さんの入院生活の中での家族と豊かな時間を共有していただけたらと願い、今後も活動していけたらと思っております。

これから、益々活動の場が広がる Smiling　Hospital　Japan プロジェクト。このプロジェクトに参加できることを幸せとし、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

上：療育室つばさにて
右下：神奈川県立こども医療センター内科系病棟にて
テーマは「太陽」。大きな太陽よりもっと豊かでスケールの大きい作品ができました。保育士さんに手を添えてもらいながら、ちぎるときの音や手に伝わる細かな振動を楽しむ子どももいました。

●スマイリングホスピタルジャパン　アップデート（2015 年 6 月末現在）

名称	特定非営利活動法人スマイリング ホスピタル ジャパン　　（略称：SHJ）
所在地	〒168-0072　東京都杉並区高井戸東 3 丁目 3 番 15-308 電話/Fax：03-6765-6883　　その他連絡先：090-8894-2640
活動目的	入院闘病中の子どもたちが、わくわくするような楽しい時間を繰り返し持つことで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOL の向上に寄与することを目的とする。
活動内容	美術、音楽、マジック等のプロの芸術家が小児病院の病棟、病室を訪問し、クラフトワークショップ、マジック、音楽会などを催す。子どもたちが活力や自信を取り戻せるように、作る、手品を覚える、一緒に歌う、など参加型の活動にする。見通しを持って楽しみにできるように、定期的な活動とする。 活動例： 2 時間の訪問時間中、前半は病室を出られる子ども対象に病棟プレイルームにて集団の活動、後半は病室、病床にて活動可能な子どもと個別活動をする。
活動方針	・個別訪問　　一人ひとりを大切に。 ・参加型活動　　受身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問　　見通しを持って活動を楽しみにできるように。 ・本物のアート　　質の高いクリエイティブな活動を。
活動場所	神奈川県立こども医療センター　各病棟 神奈川県立こども医療センター　肢体不自由児施設　重症心身障害児施設 日本赤十字医療センター　小児病棟　　京都大学医学部附属病院　小児病棟 日本赤十字医療センター附属乳児院　　宮城県立こども病院　各病棟 大阪市立総合医療センター　各小児病棟　　石巻赤十字病院　小児病棟 療育室つばさ　　慶応義塾大学病院　各小児病棟 淀川キリスト教病院ホスピス・子どもホスピス病院　　静岡県立こども病院
役員	代表理事　松本　惠里　　理事　高橋　精一 副代表理事　三原　典子　　理事　谷口　幸路 監事　神津　理絵
地区 コーディネーター	北海道：米澤倫子　仙台：宍戸素子　石巻：千葉淳子　京都：田久朋寛 大阪：西　純江　東京・神奈川：松本惠里　静岡：鈴木知子 岡山：三好祐也　統括コーディネーター：三原　典子
事務局 運営ボランティア	9 名
正会員	15 名
サポート会員	102 名　6 団体
登録アーティスト	55 名
URL	http://www.smilinghpj.org/
E-mail	info@smilinghpj.org
銀行口座	ゆうちょ銀行　名義：特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号： 10090　　番号： 74039541 みずほ銀行　名義：特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店：浜田山支店　預金種目：普通預金　　口座番号：1950697
協賛	FCA ジャパン株式会社 日本歯科医師会 日本財団 在日米国商工会議所

●今後の予定

7 月に、北海道大学病院、東京大学医学部附属病院にて定期活動、北海道立小児保健医療療育センターにて不定期活動を開始します。大阪では、3 月に訪問を開始した淀川キリスト教病院こどもホスピスに続き、12 月完成予定の TSURUMI こどもホスピス（ともに大阪市）とも連携し、さらなるホスピスにおける QOL 向上にむけ取り組みます。
次号では、昨年度より支援を受けている日本歯科医師会と日本財団による難病の子ども支援プロジェクト”TOOTH FAIRY”についてご紹介いたします。
引き続き、小児医療に携わるさまざまな団体と連携し、入院中の子どもたちを支援していきます。
サポート会員常時募集中です。お近くの方に SHJ の活動についてお話しいただければ幸いです。

スマイリングホスピタルジャパン　事務局